

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	MFIP海老名 新築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県海老名市中央五丁目33番1ほか26番	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,872 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年6月 予定	評価の実施日	2025年1月14日
敷地面積	19,823 m ²	作成者	日鉄エンジニアリング(株)
建築面積	10,653 m ²	確認日	2025年1月27日
延床面積	40,124 m ²	確認者	日鉄エンジニアリング(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.3

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.9

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 立地は小田急線、相鉄線海老名駅から徒歩10分、JR海老名駅からは徒歩14分の好立地にある。 敷地周辺は今後開発が進むエリアである。ここに地域と共に新たな賑わいを創出する産業開発拠点を計画した。 	<ul style="list-style-type: none"> 広場と公園を海老名市と連携し一体的に整備することで、地域住民の憩いの場を広く提供している。
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 空気取入口は各種排気口と6m以上離れて設置されている。 	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 敷地外周部に緑地帯を設ける。 景観配慮として、外壁パネルの配色をランダムに配置することで建物のボリューム感を軽減させている。
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> BPlm=0.72、BEIm=0.21、LED照明設備を導入している。 	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 駐輪場・駐車場及び荷別用車両の駐車施設(トラックバス)を確保し、車両入口付近に大型車両の待機スペースを確保し、周辺交通負荷の抑制を図る。
<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> 事務室の天井高さは2.9m以上を確保。 執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース及び自動販売機置場を設置。 	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> 躯体+軽鉄+仕上材のディティールを採用している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される